

氏名	高 木 寛 治
学 位 の 種 類	医 学 博 士
学 位 授 与 番 号	博 乙 第 2282 号
学 位 授 与 の 日 付	平成 3 年 6 月 30 日
学 位 授 与 の 要 件	博士の学位論文提出者（学位規則第 5 条第 2 項該当）
学 位 論 文 題 目	日本脳炎予防に関する疫学的研究 第 1 編 気候因子と豚の日本脳炎 HI 抗体反応陽性化日との関係 第 2 編 倉敷市某病院入院患者の日本脳炎 HI 抗体陽性率および HI 抗体価の推移
論 文 審 査 委 員	教授 青山英康 教授 新居志郎 教授 矢部芳郎

学 位 論 文 内 容 の 要 旨

日本脳炎の予防に対する基礎資料を作成するために、気候因子と豚の日本脳炎血球凝集反応抑制抗体（日本脳炎 HI 抗体）50%陽性化日の関係、および HI 抗体 50%陽性化日と患者初発日の関係を求めた。また、長期入院患者を対象として、日本脳炎 HI 抗体価の変動を検討した。

第 1 編では、感染源である豚の日本脳炎 HI 抗体について、昭和 57 年より昭和 63 年の間における、検査豚の HI 抗体 50%陽性化日に注目して、気温、日照時間、降水量の順に、これらの気候因子と豚の 50%陽性化日との間に高い相関係数を示すことを認めた。また、重回帰方程式を用いて、気候因子より豚の 50% HI 抗体陽性化日を推定する方法を確立した。次いで、豚の HI 抗体 50%陽性化日と日本脳炎患者の初発日との関係を単回帰方程式および両者の平均値の差異より明らかにした。

第 2 編では、長期入院患者のうち、十分な HI 値の保持されている期間として、昭和 57 年より昭和 60 年を選んだ。そして、この間の日本脳炎 HI 抗体価の個人変動を測定した成績から、日本脳炎の抗体価の年次別の減少を測定し、4 年間の経過において日本脳炎 HI 抗体価が明らかに減少することを認めた。現在、感染源である豚の HI 抗体価は夏期において陽性化し、かつ、住民の抗体価の減少より、著者は日本脳炎の予防対策をひき続き実施する必要性のあることを述べている。

論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

本研究は日本脳炎の予防対策を検討するために必要な基礎資料を作成するために、気候

因子と豚の日本脳炎血球凝集反応抑制抗体（HI抗体）50％陽性化日との関係及びHI抗体50％陽性化日と患者初発日との関係を統計学的に検討し、回帰式を作成した。さらに、長期入院患者を対象として、日本脳炎HI抗体価の変動を明らかにしたことは、公衆衛生学上、重要な知見を得たものとして価値ある業績であると認める。

よって、本研究者は医学博士の学位を得る資格があると認める。